

# みんなによってたかって笑顔輝く佐々っ子を育てよう

長崎県佐々町		●活動名 佐々小応援団			●関係する学校名 佐々町立佐々小学校	
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成29年10月1日	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		—	—		
	—		放課後子供教室	—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		—	2人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
	96人	—	—	—	—	
参考URL	<a href="http://academic4.plala.or.jp/sazasyo1/">http://academic4.plala.or.jp/sazasyo1/</a>					
●連絡先	佐々町立佐々小学校		☎ 0956-62-2076			



●活動の概要・経緯

本校は、これまであった各種学校支援団体を組織的に統合・整理し、平成29年度から、コミュニティ・スクールとなった。年度当初の学校運営協議会において、校長が示す学校経営方針を踏まえ、学校と地域が協働して子どもを育てる教育目標を共有した上で、1年間の教育活動を進めている。地域と共に成長する学校として、地域から様々な支援活動を受けながら、子どもたちの地域を愛する心や誇りに思う気持ちの向上を目指して日々の活動に取り組んでいる。子どもたちの成長とやる気が更に地域の各支援団体の活性化にも役立っている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

毎週火曜日には退職校長会によるサポートティーチャー支援が行われている。(年間計画に基づいて全学年)。同日の午後の算数の時間に習熟の時間を設け、学習内容の基礎・基本の定着を目指し、丸付けなどの支援を行っている。婦人会は、5年生の家庭科の裁縫や調理実習支援を行っている。また、毎年親子レクリエーションのもちつき大会(5年)の手伝いや運動会の全校踊りの技術指導を行い、保護者や子どもたちをサポートしている。老人会においては、2年生の生活科(昔遊び集会)での学習支援をしたり、毎朝の登校時の見守りボランティアとして活動したりしている。また、図書ボランティアによる読み聞かせや親父の会主催で4泊5日の通学合宿(世知原少年自然の家活用)も行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

学校コーディネーター(教務及び学年主任)が中心になり、各学級の学習内容の定着及び向上についての支援方法のニーズを把握し、サポートティーチャーの配当調整を行うシステムを作っている。また、地域人材確保のために「佐々っ子応援団」との連携を図っている。学校の必要性和地域の各種団体の活動が合致するものを精査し、実践するように心がけている。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会(年3回実施)において活動の報告や検証などを行い、学校と地域・家庭の双方の意見を聞き、PDCAサイクルで見直しながら改善を図っている。また、年に一回、関係団体のボランティアを学校に招待して感謝の会を実施し、子どもたちから地域の方へ感謝の気持ちを伝えている。この会での交流が持続可能な活動につながっている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域人材による各活動によって、子どもたちは地域との繋がりをより実感している。それぞれの活動で、子どもたちは励ましの言葉を地域の方々からもらい、より自己肯定感が高まり、地域を愛する心が育っている。また学力に関しては、基礎基本の定着が高まり、全国学力学習状況調査において、年々点数がアップしている。その成果を受けて、支援をいただいている地域の方々も子どもと向き合いながらその手ごたえとやりがい(生きがい)を感じ、元気をもらっている。また地域のあいさつ運動は、小・中・高校と長いスパンで子どもたちの成長を見守ってもらっており、その繋がりが非行防止、交通事故防止、不審者防止の面でも大いに役立っている。

## ● その他

放課後子ども教室として、年間30回ほど、地域や保護者の方々が子どもたちの学習支援を行っている。



婦人会による学習支援



通学合宿朝の登校の様子